

発議案第18号

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散に対する空間、
土壌等の放射線量の八千代市独自の測定の実施及び結果の公表を求める決
議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出しま
す。

平成23年6月15日

八千代市議会

議長 林 利彦 様

提出者	八千代市議会議員	奥山 智 ⑩
	同	菅野 文男 ⑩
	同	横山 博美 ⑩
	同	緑川 利行 ⑩
	同	秋葉 就一 ⑩
	同	松井 秀雄 ⑩
	同	小林 恵美子 ⑩
	同	横田 誠三 ⑩
賛成者	八千代市議会議員	伊東 幹雄 ⑩
	同	原 弘志 ⑩
	同	江野沢 隆之 ⑩
	同	坂本 安 ⑩
	同	海老原 高義 ⑩

同	橋	本	淳	印
同	安	原	哲	印
同	松	崎	寛	文
同	木	下	映	実
同	塚	本	路	明
同	林		隆	文
同	大	塚	裕	介
同	堀	口	明	子
同	中	村	健	敏
同	西	村	幸	吉
同	茂	呂		剛
同	嵐		芳	隆
同	山	口		勇
同	皆	川	知	子
同	河	野	慎	一
同	正	田	富美恵	印
同	成	田	忠	志
同	菊	田	多佳子	印

提案理由

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散に対する市民の不安は高まっている。よって、八千代市独自の空間、土壌等の放射線量の定期的測定の実施及び結果の公表を求める。

これが、本案を提出する理由である。

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散に対する空間、
土壌等の放射線量の八千代市独自の測定の実施及び結果の公表を求める決
議

3月11日に発生したマグニチュード9.0の大地震と津波による東京電力
福島第一原子力発電所の事故は、各種の放射性物質を東北、関東地方を中心
に広範囲に拡散させ、国民生活に多大な影響を与え、多くの国民の不安感が高ま
っている。

八千代市を取り巻く近隣自治体のすべてが、千葉県調査を待つことなく、
独自の放射線量の測定や土壌分析の実施及び結果の公表を実施または決定して
いる中で、八千代市は実施の方針も打ち出してはいない。

そのような中で、母乳調査・母子支援ネットワークが実施した母乳調査で、
市内に住む母親の母乳から放射性セシウム137が検出されたとの発表があり、
市民の不安感、特に子供を持つ世代を中心にますます高まっている。

このような市民感情を考慮し、市内の小・中学校、保育園、公園等において、
県の測定基準を踏まえ、市として放射線量の定期的測定と土壌分析の実施及び
結果の公表を執行機関に対し求める。

以上、決議する。

平成23年6月23日

八千代市議会